

2022年12月2日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



## 森永製菓株式会社が発行するサステナビリティボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下当社)は、このたび、森永製菓株式会社が発行するサステナビリティボンド<sup>(1)</sup>(5年債 90億円、以下本社債)の引受けにおいて事務主幹事及びストラクチャリング・エージェント<sup>(2)</sup>を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

森永製菓グループは、2021年5月、2030年に向けた長期経営計画「2030経営計画」において、2030ビジョン「森永製菓グループは、2030年にウェルネスカンパニーへ生まれ変わります。」を掲げ、様々な取組みを進めています。今後も成長し続ける永続企業(サステナブルカンパニー)として、心と体をすこやかにする食を創造し、誰もが笑顔で過ごせる持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。本社債による調達資金は、全額を環境共創型オフィスとして計画している(仮称)森永製菓芝浦ビルの建て替えにかかる設備資金に充当される予定です。

本社債は、ICMAグリーンボンド原則2021、LMA・APLMA・LSTAグリーンローン原則2021、環境省グリーンボンド及びサステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン2022年版、環境省グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2022年版、ICMAソーシャルボンド原則2021、LMA・APLMA・LSTAソーシャルローン原則2021、金融庁ソーシャルボンドガイドライン2021年版及びICMAサステナビリティボンド・ガイドライン2021に則して策定されたフレームワークに基づき発行され、第三者評価機関である株式会社日本格付研究所より適合性について評価を取得しています。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金用途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	森永製菓株式会社第 15 回無担保社債(社債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド)
発 行 年 限	5 年
発 行 額	90 億円
利 率	0.490%
発 行 日	2022 年 12 月 8 日
償 還 期 限	2027 年 12 月 8 日
利 払 日	毎年 6 月 8 日及び 12 月 8 日
資 金 使 途	全額を(仮称)森永製菓芝浦ビルの建て替えにかかる設備資金に充当予定
取 得 格 付	A(株式会社日本格付研究所)
主 幹 事	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社 みずほ証券株式会社
ストラクチャリング・エージェント	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社

- (1) 国際資本市場協会(International Capital Market Association: ICMA)が定義する「サステナビリティボンド・ガイドライン(Sustainability Bond Guidelines)2021」に則した債券
- (2) フレームワークの策定及びセカンドパーティ・オピニオン取得の助言等を通じて、サステナビリティボンド等の発行支援を行う者

※SDGs 債ロゴについて:SDGs 債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs 債とは、調達資金が SDGs に貢献する事業に充当される債券や、SDGs の実現に貢献する KPI 設定/SPTs 達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体が SDGs に貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上